

「錦帯橋」の架構技術と未来への継承

長野県建設労連では、伝統技能を次世代へ継承するため、県や内外関係者とタイアップし、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を、2009年より開講しています。

このコースは、信州の歴史と風土をふまえ、建築大工としての伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざすもので、毎週土曜日、半年間の訓練を行ないます。

2012年度は第Ⅱ期「応用コース」を開講中で、修了後、県認定の「信州伝統大工技能評価試験」を実施し、合格者には「信州伝統大工1級」の称号が与えられます。

この公開講座は、通常の授業では盛り込めない内容をテーマに、受講生への座学を兼ねて、一般市民も参加できるオープンセミナーとして年数回開催しているものです。

.....

今回は、「錦帯橋」の棟梁として著名な海老崎桑次棟梁を、山口県岩国市よりお招きして公開講座を行います。

海老崎棟梁は、50年ぶりの「平成の錦帯橋架け替え」工事を無事終えられ、近年は文化財修復工事や民家工事等を手がけられる一方、全国の棟梁とも交流を広げながら、後継者育成にも努められています。

平成の大事業を成し遂げられた棟梁から、未来に向けた貴重な話が聞けるまたとない機会ですので、伝統建築に関心をお持ちの若手・中堅職人、事業主、市民、学生など、多くの方々のふるっての参加をお待ちしています。

■日 時：2012年9月22日（土）13：30～17：00

■会 場：建労会館3F 大会議室（松本市宮瀨本村1-2）

■受講料：組合員 2,000円、組合員以外 3,000円

■定 員：50名（定員になり次第締切）

■講 師：**海老崎 桑次 氏**

（海老崎組代表、現代の名工、NPO日本伝統建築技術保存会、NPO伝統木構造の会顧問）

【えびさき・くめつぐ】1945（昭和20）年、山口県岩国生まれ。1970（昭和45）年、近畿大学建築学科卒業後、設計事務所に就職、大阪万博パビリオン周辺施設を手掛ける。その後、郷土に戻り父に師事し、海老崎組を継承。海老崎組は代々、錦帯橋架替工事に携わり、50年前、1951～53（昭和26～28）年の「昭和の架け替え工事」には、祖父・桑次郎と父・奈良次郎が従事した。

2001（平成13）年、平成の「錦帯橋架橋事業」の棟梁に抜擢され、地元の大工集団を率いて、2004年（平成16年）、5橋全ての架け替え工事を無事完了。

中国地方では職人仲間に絶大な信頼を得ると共に、現在、後継者育成にも真摯に取り組む。岩国伝統建築協同組合・前理事長。宮大工の直井光男（福井）、小川三夫（奈良）、田中健太郎（富山）棟梁ほか、伝統構法の普及を進める全国の大工や設計者とも幅広く交流。

【主な仕事】錦帯橋（岩国）架替工事、厳島神社（宮島）修復工事、目加田家住宅（岩国）他、文化財修復多数。住宅、民家、社寺等の仕事も多数。

【その他】平成17年「現代の名工」（厚労省）、平成19年「黄綬褒章」受賞。NHK「人間ドキュメント」、「課外授業 ようこそ先輩」等にも出演。



今回の講座では、世界でも例をみない木造アーチ橋「錦帯橋」の50年ぶりの架け替え工事のお話を中心に、大量の用材の手配、地元大工集団の統括、独特の木造架構技術、構造解析、組み立てと施工プロセス、未来への技術継承の課題など、豊富な映像をもとに幅広く語っていただきます。

その他、民家・社寺・文化財修復等の最近の仕事や、西本願寺修復・伊勢神宮遷宮等の現場見聞、次世代育成等のお話も、画像等をまじえてご紹介いただく予定です。

(＊錦帯橋は、江戸初期の築城と城下町の建設以来、度々橋が流れたことから、3代岩国藩主・吉川広嘉が大工・児玉九郎右衛門に命じ、流れないアーチ橋建設に着手。1674年(延宝2)最後の改良形の完成後、276年間流されなかった。この間、中央アーチ3橋は約20年毎、両端桁橋は約40年毎等、定期的に架け替え。その都度改良され、1796年(寛政8年)の改良以後、現在の形状に。以降210年間、形状や意匠の変更なし。1950年(昭和25年)9月、キジア台風で流失したが、1951～1953年(昭和26～28年)即座に再建。2001～2004年(平成13～16年)、50年ぶりに26億円をかけて5橋全てを架け替え。2005年(平成17年)9月、台風14号で1橋の橋脚2基が流失したが、橋体に損傷なく復旧、現在に至る。)



▲錦帯橋図(伝・渡辺永喜,1807年)



▲キジア台風で流れおちる錦帯橋(1950年)



▲平成の架け替え順序



▲錦帯橋はカテナリー(懸垂線)



▲5橋全ての架け替えが完了した平成の錦帯橋(2001～2004年)



▲5橋全ての架け替えが完了した平成の錦帯橋(2001～2004年)



▲5橋全ての架け替えが完了した平成の錦帯橋(2001～2004年)



▲桁への巻金、カスガイの取り付け



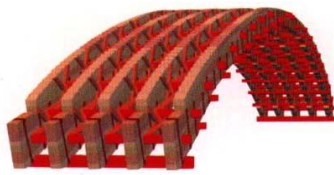
▲平均木(檜)



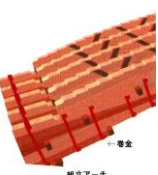
▲鞍木(松)



▲振止木(松)



▲アーチの倒れと桁のずれを止める平均木



▲桁を束ねる巻金



▲アーチを補強する鞍木と肋木



▲水平方向の剛性を保つ振止木



▲祥雲寺・平成の再建(2006年)



▲小田原城木造化シンポ(2012年)



▲宮島棟梁サミット(2012年)

■申込み方法：別紙申込用紙に必要事項を記入の上、9月19日(水)までに FAX にてお申込下さい。受講料は、組合員の場合は申込締切日までに所属組合へ納入して下さい。組合員以外の方は、公開講座当日に受付でお支払い下さい。

■主催(問合せ・申込み先)：長野県建設労連／伝統建築技能継承事業運営委員会
〒390-0864 松本市宮渕本村1-2 建労会館内長野県建設労働組合連合会
TEL 0263 (39) 7200 FAX 0263 (39) 7202 担当：宮川、矢ヶ崎、吉田

FAX 0263-39-7202

長野県建設労働組合連合会／伝統建築技能継承事業運営委員会宛
担当／宮川、矢ヶ崎、吉田

信州職人学校第 17 回公開講座 受講申込用紙

◆講師：海老崎 衆次 氏

(海老崎組代表、現代の名工、NPO 日本伝統建築技術保存会、NPO 伝統木構造の会顧問)

◆演題：「錦帯橋」の架構技術と未来への継承

■日 時：2012 年 9 月 22 日 (土) 午後 1 時 30 分～午後 5 時

■会 場：建労会館 3F 大会議室 (松本市宮淵本村 1-2)

■受講料：組合員 2,000 円、一般参加者 3,000 円

■締 切：受講申込みの締め切りは 2012 年 9 月 19 日 (水)

※) 上記に関わらず、定員 (50 名) に達し次第締め切りとなります。

申込者氏名		
組合名 <small>※組合に所属し ていれば記入</small>		
連絡先	事業所名	
	住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
要望など		